



Places to visit in Koto City

江東区の見どころ

コミュニティサイクルで 巡ってみよう!

地域内に設置されたサイクルポートであれば、
どこでも自転車を貸出・返却することができるシステムです。
自転車で江東区を巡ってみてはいかがでしょうか?



江戸の文化息づく 深川地区

神社仏閣の祭礼などの年中行事を中心に、江戸市民の遊興地としてもにぎわい、江戸文化の華を咲かせた深川地区。名所・旧跡が多数存在し、伝統芸能や伝統工芸、「深川めし」に代表される食文化など、庶民の「いき」な江戸情緒を身近に感じることができる地区です。



富岡八幡宮

東京十社にも数えられ、江戸三大祭のひとつ、「深川八幡祭り(別名:水かけ祭り)」で有名な神社。江戸勸進相撲の発祥地でもあり、現在も新横浜誕生の際には土俵入りが奉納されます。



清澄庭園

都の名勝第1号に指定されている清澄庭園。広大な池の周りを鳥々が取り囲む、明治の庭園を代表する「回遊式林泉庭園」であり、随所に樹木や名石が配置され、四季を通じて様々な美観を楽しむことができます。



松尾芭蕉ゆかりの地

俳諧師・松尾芭蕉は、深川の庵を拠点に活動し区内には芭蕉記念館などの芭蕉まつわる史跡が数多く残されています。代表作「おくのほそ道」の壮大な旅もこの深川の地から出発しました。



カフェの街

深川エリアは近年、木材倉庫の跡地を活用したカフェが続々とオープンし、「カフェとアートの街」としても大人気。清澄白河のブルーボトルコーヒー日本1号店に代表されるカフェや飲食店が多数存在するおしゃれな街並みを楽しめます。



人情あふれる 城東地区

城東地区は、亀戸神社や亀戸香取神社といった由緒正しい神社仏閣や、活気に満ち溢れる砂町銀座商店街、B級グルメが人気の亀戸駅周辺など、下町の面影や人情を感じることができる地区です。

亀戸天神社

学問の神様である菅原道真が祀られる東京十社のひとつ。「亀戸の天神さま」として親しまれ、受験生や多くの参拝客が訪れます。「新東京百景」の一つにも数えられ、梅や藤の季節には東京スカイツリー®を臨む景色が楽しめます。



砂町銀座商店街

テレビなどでたびたび取り上げられる江東区を代表する商店街。180もの店舗が軒を連ね、安くておいしいグルメは食べ歩きも楽しめます。昔ながらの区民の台所は、下町人情味あふれる、心もおなかも満たされるスポットです。



江東花火大会

江東区、商店街、地元企業が協力して開催する、夏の風物詩。荒川に浮かぶふ台船から約6,000発の花火が打ち上げられ、夜空を華やかに飾ります。都内では珍しい、目の前で上がる花火は迫力満点です。



KAMEIDO CLOCK

令和4年4月に江東区にオープンした大型商業施設です。こどもと安心して遊べるキッズパークも兼ね備えており、広場で多種多様のイベントを開催しています。地域共生をテーマに都市開発を行い、住宅棟、区立小学校・幼稚園、子ども家庭支援センター、認可保育所が隣接しています。



発展続く 臨海部地区



臨海部地区は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会で全国最多の競技会場を有する大会の中心地となりました。大規模なコンベンション施設や文化・スポーツ施設、東京国際クルーズターミナルなど、発展を続ける地区であり、今後も様々な施設の開業が予定されています。日々変化するその姿からは東京の未来への期待を感じることができます。



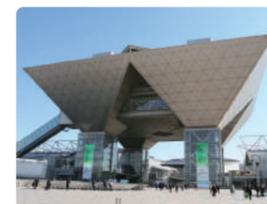
豊洲市場

平成30年に首都圏の基幹市場としてオープンした豊洲市場。豊富で新鮮な生鮮食品流通の円滑化と食の安全・安心の確保、効率的な物流の実現を目指し、新たな食の魅力スポットとして、国内外からも注目されています。



有明アリーナ

東京2020オリンピック・パラリンピックの競技会場であり、東京アクアティクスセンターや夢の島公園アーチェリー場、海の森水上競技場と同じく、レガシー施設として活用されています。区民が身近にスポーツやイベントを楽しむとともに東京2020大会の成果を未来に継承していきます。



東京国際展示場(東京ビッグサイト)

「東京ビッグサイト」の名で親しまれている日本最大級のコンベンション施設。国際的な会議や展示会、イベントが多数開催され、大人気のコミックマーケットには毎年たくさんの人が訪れ、話題となっています。



豊洲 千客万来

令和6年2月にオープンした豊洲市場に隣接する新たな商業施設。食事や買い物を楽しめる食楽棟は江戸の古い街並みが再現され、箱根・湯河原温泉の名湯で温泉郷を実現した温浴棟の展望足湯庭園では豊洲の景観を一望できます。夜にはライトアップされたレインボーブリッジや都心の夜景を堪能することができます。

INTERVIEW

新人職員インタビュー

受験生の皆さんが気になっていることを
今年度入庁した新人職員に聞いてみました。
インタビュー結果を新人職員の2人と一緒に紹介します。



🔑 江東区の志望動機と入庁して感じたことを教えてください。

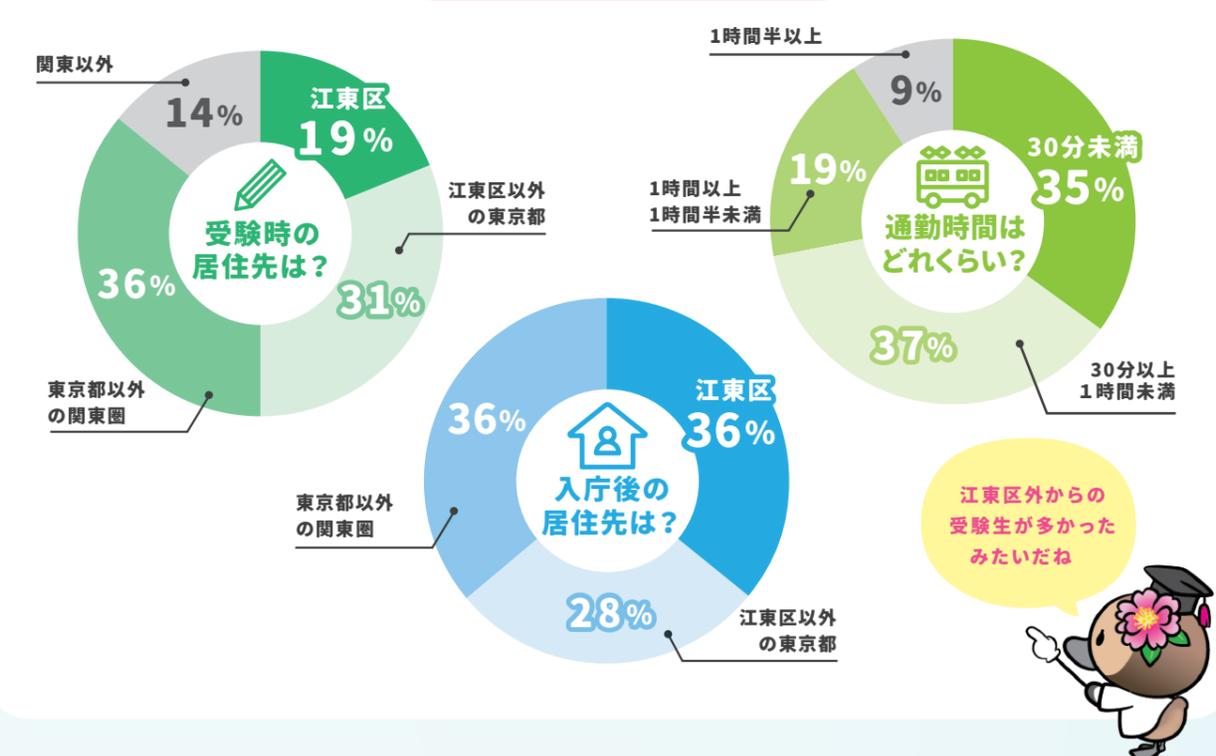
尾坂さん 令和7年度 1類採用
障害者施策課施設管理係

江東区は地下鉄8号線延伸や本庁舎の建て替え、臨海部の開発などで今後発展していきそうだと思う魅力を感じました。先輩方は優しく真面目な方が多く、同期とも休憩室でお昼ご飯を食べるなど、楽しく過ごせています。

竹内さん 令和7年度 1類採用
学務課給食保健係

自然や商店街などといった資源が豊富にあるので、こうした資源を最大限に活かし区民の生活を多方面から支えていきたいという思いから志望しました。先輩職員はフランクに話す方が多いので、相談しやすく安心して仕事に取り組んでいます。

新人職員データ



Q1 江東区の志望理由を教えてください。

- スポーツが好きで東京オリンピック・パラリンピックのレガシーを生かした取り組みに携わりたいと感じたからです。
- 豊洲周辺の再開発や地下鉄8号線の延伸など今後のまちづくりの発展に加え、亀戸や門前仲町のような下町など新旧が混在する魅力的なまちづくりに関わりたいと思ったからです。
- 区長が女性ということで、女性が活躍している印象があったからです。ワークライフバランスが整っているイメージがありました。

多面性のあるまちの雰囲気を志望理由に挙げた人が多かったです。

他にも出勤時間をずらせたり、服装の幅が想像より広いなどギャップを感じたという意見もありました。

Q2 仕事をする中で、入庁後に感じたギャップがあれば教えてください。

- 入庁する前は、もっと静かな方が多いと感じていましたが、にぎやかな雰囲気でした。
- 1年目でも任せてもらえる仕事の幅が広く、学ぶ機会が多かったです。
- ルーチンワークが思ったよりも少ないこと、前例踏襲をよしとせず業務改善をしていく雰囲気にギャップを感じました。

休暇の取りやすさなどワークライフバランスを図りやすいという意見が多かったです。

Q3 江東区に入庁してよかったと感じるところを教えてください。

- 福利厚生が充実しているところ。お得にテーマパークに行くことができたり、ホテルに泊まれたりします！
- 職場の同期や先輩職員の人柄がよいところ、庁舎周辺が買い物に便利な一方でほどよく落ち着いたところ。
- 新人の意見もしっかり聞いてもらえること。江東区役所全体で職員の健康面を一番に気遣っているところ。

Q4 江東区の面接対策でどのようなことをしたか教えてください。

- 主要なスポーツ施設であったり、江東区で有名なスポットを街歩きしました。街歩きを通して、江東区の新たな一面であったり、自分の住んでいる地域との違いなどを知ることができたのでよかったです。
- 江東区の街についてよく知っておくこと。実際に行き、感じたことを話せるといいと思います。また、江東区について感じる問題点や、その解決法についてまで話せるとより熱意が伝わります。
- 23区の中で江東区を志望した理由を明確に説明しなくてはいけないため、長期計画から江東区が注力している政策を把握したり、街歩きで魅力に触れて志望理由をかためていきました。

レンタサイクルで3日間区内を巡り、楽しみながら江東区について勉強したという意見もありました。

受験生へメッセージをお願いします

職場環境もよく有休も取りやすいため、ワークライフバランスが取れているところが魅力です。試験に面接と大変だと思いますが、最後まで諦めずに頑張ってください。一緒に働ける日をお待ちしています。

入庁してすぐは不安だらけでしたが、先輩職員の方の支えもあり自分のペースで成長できたので職場環境はとて素晴らしいと感じています。公務員は民間と違い採用時期が遅いので大変だと思いますが、江東区で働きたい思いがあれば伝わるので頑張ってください！